

J.S.Bach:  
Johannes-Passion  
BWV 245

混声合唱団「樹林」第21回定期演奏会

## ヨハネ受難曲

混声合唱団「樹林」は、第21回定期演奏会に念願の大曲J.S.バッハ作曲「ヨハネ受難曲」を取り上げました。死をもって生を恵むこの受難曲に挑戦です。

出演者は、常任指揮者の辻秀幸、ソリストには日本でトップレベルの方々にご出演いただきます。オーケストラは、バッハの演奏には定評のある東京バッハ・カンタータ・アンサンブル、合唱は、群衆の役回りやコーラルなど4役をになう難曲ですが、「樹林」は、特別練習なども取り入れながら、諸先生方のご指導のもと意欲的に練習に励んでいます。

今回は、字幕を導入しました。言葉と結びついた音楽の味わい深さをよりお楽しみいただけます。



常任指揮者  
辻 秀幸



福音史家&テノール  
鈴木 准



イエス  
田代 和久



ピラト&バス  
黒田 博



ソプラノ  
佐竹 由美



アルト  
加納 悦子



### 混声合唱団「樹林」

1985年宮前区で「ベートーヴェンの第九を歌う会」を作ろうという呼びかけから、我が合唱団が誕生して30年になります。週1回の練習を重ね、毎回プロのソリストとオーケストラを迎え定期的に練習成果を発表して参りました。海外公演も2度、1998年川崎市文化使節としてオーストリアのザルツ

ブルグ大聖堂で、2008年にはチェコのブラハ市スメタナホールにて演奏会を開催いたしました。2015年には4名の歴代常任指揮者を迎え、30周年記念演奏会を開催いたしました。

今回の第21回定期演奏会は辻秀幸常任指揮者のもと、総勢100名でヨハネ受難曲を演奏いたします。